

品質保証に対する取り組み

当社は品質保証担当役員を委員長とし、品質保証委員会を定期開催しています。この委員会では、品質保証の基本方針および計画についての審議と「重要課題の計画的な改善」、「品質クレームの未然防止」、「品質保証強化」などの諸改善活動を実施しています。

第7次中期経営計画の最終年度である2010年度は、これらの活動の効果によって品質の向上を図ることができ、第8次中期経営計画においても引き続き計画的な改善を図ることによって、「技術先進性の拡大」と「品質保証の高度化」に取り組み、国内外の高度化するお客様のニーズに応えてまいります。

顧客に対する取り組み

当社では、顧客の皆様から品質に関する評価収集を年1回実施しています。

品質項目を選定して、評価の低かった項目を改善することで更なる顧客満足度向上を目指します。

また、顧客のニーズをタイムリーに捉えるため、顧客の皆様との技術交流会を随時開催しています。

当社の開発製品、新技術等を紹介するとともに、顧客の最新ニーズの情報収集、当社製品の詳細情報提供等により顧客満足度の向上に役立てています。

QC教育

当社は、若手の技術系従業員に対してQC教育を行っています。

統計的品質管理、QCストーリー、QC7つ道具、ピボットテーブル、重回帰分析等を活用し、各自が年度業務課題で抱えている課題の解決に取り組んでいます。

また、品質管理の担い手の育成を図るため、日本規格協会等の社外セミナーにも積極的に参加しています。

c o l u m n

(社) 日本金属学会から「技術開発賞」受賞

2010年9月、(社)日本金属学会から柳谷彰彦常務取締役粉末事業部長と澤田俊之氏が、「ショットピーニング投射材用1200HV級FeCrBガスアトマイズ粉末の開発」について「技術開発賞」を受賞しました。

ショットピーニングとは、粉末状の投射材を吹き付けることで部品の疲労強度を向上させる表面処理方法のひとつです。当社では、高い硬度と密度、ならびに優れた寿命特性と量産性を兼ね備えた新しい投射材用金属粉末の開発に成功しました。

「技術開発賞」とは、金属工学ならびにこれに関連する新技術・新製品などの独創的な技術開発に携わった技術者に対し授与されるもので、当社の優れた技術先進性と商品開発力に支えられた独創的な技術開発の成果が高く評価されました。



(社) 日本鉄鋼協会から「技術貢献賞(渡辺義介記念賞)」受賞

2011年3月、(社)日本鉄鋼協会から入江敏弘参与製鋼部長が「技術貢献賞(渡辺義介記念賞)」を受賞しました。

製鋼工程における高 cleanliness 鋼の高生産性操業技術の開発・改善を進めたほか、品質保証体制の高度化に努めるなど、高信頼性特殊鋼の製造技術の確立に貢献した功績が評価されました。

